

技術名称：ジオメトリーパネル

申請者名：岡部株式会社

技術部門： 効率化部門

登録
区分

区分3：活用促進技術

区分2：試行段階技術

区分1：開発・改良支援技術

■技術概要・ポイント（写真・図面等を適宜貼付）

- ・鉄筋挿入工に使用する開口部を有した鉄製受圧板、全面緑化が可能で工程は運搬・設置のみのため、工期の短縮が図れる製品である。
- ・鉄製で高い耐荷性能を有しており、人力による運搬・設置ができるため、狭隘な現場でも施工が可能である。
- ・工場2次製品のため、養生も必要なく安定した品質を確保できる。
- ・逆巻施工現場に適しており、現場作業時の安全性を確保できる。
- ・老朽化した擁壁、吹付砕内の補強等も可能である。



ジオメトリーパネル 従来技術（吹付砕工）

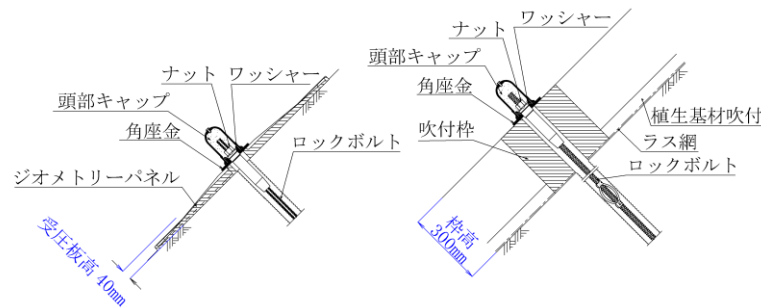


図 標準断面図（従来技術との比較）

■公共事業における施工・活用方法

従来技術は、現場養生が必要となる吹付砕工に対し、ジオメトリーパネルは、工場2次製品のため養生も必要なく、安定した品質や工期短縮が期待できる。
逆巻施工現場に適しており、現場作業時の安全性を確保できる。

■適用条件等（自然条件・現場条件等の活用上の留意点）

適用事業

- ①道路 ②河川 ③ダム ④砂防 ⑤港湾 ⑥海岸
⑦下水道 ⑧公園 ⑨その他 ⑩全般

①現場条件

表層崩壊の危険があり、崩壊深さが3m程度以下、崩壊長さが30m以下を目安としたのり面、老朽化した擁壁

②特に効果の高い適用範囲

- ・緑化を永続的に保持したい
- ・景観を重視する現場
- ・重機が進入できない現場
- ・逆巻施工が必要な現場



③活用上の留意点

- ・設置面に凹凸が大きい場合は、不陸調整が必要
- ・重機を使用する場合は作業スペースの確保が必要

④適用できない現場条件

- ・逆巻施工の場合において、地山掘削時において短期的に掘削面が自立しないのり面
- ・のり面の勾配が1：0.3より急な勾配

■技術の成立性

- ・自社載荷試験により、240kN以上の耐荷性能を有していることを実証し、設計荷重130kNに対し十分な強度であることを確認している製品として活用できる。

開発
体制等

- ①単独 ②共同研究(民民) ③共同研究(官民) ④共同研究(民学)

開発会社：岡部株式会社

販売会社：岡部株式会社

協会：

副部門(副次的効果)

部門

技術名称：ジオメトリパネル

申請者名：岡部株式会社

■活用の効果（技術部門（主部門）のアピールポイント）

※従来技術名（吹付砕工+鉄筋挿入工）

項目	活用の効果			発現する効果	
				申請技術	従来技術
経済性	向上 (22%)	同程度	低下 (%)	従来技術での型枠組立や吹付作業を申請技術では行わないため、経済性が向上する。	従来技術では型枠組立や吹付作業が必要になるため、申請技術に比べ経済性は劣る。
工程	短縮 (45%)	同程度	増加 (%)	従来技術において、必要な型枠組立や吹付作業を申請技術では行わないことや養生時間が不要な点で工程の短縮が図られる。	従来技術では型枠組立や吹付作業、養生時間が必要になるため、申請技術に比べ工程は増加する。
品質・出来形	向上	同程度	低下	申請技術は、工場2次製品のため、品質が安定している点や出来形管理項目が減少することで現場での品質管理作業が少なくなる。	従来技術では吹付作業が必要になるため、気候や気温によって品質にばらつきが起きる可能性がある。申請技術に比べ現場で仕上げるものが多く、出来形管理項目も増加する。
安全性	向上	同程度	低下	申請技術は、工場2次製品のためのり面での高所作業が軽減する。	従来技術では型枠組立や吹付作業が必要になるため、申請技術に比べのり面での高所作業が多く、申請技術に比べ安全性は劣る。
施工性	向上	同程度	低下	従来技術での型枠組立や吹付作業を申請技術では行わず据付作業のみとなるため施工性が向上する。	従来技術では型枠組立や吹付作業、養生時間が必要になるため、申請技術に比べ施工性は劣る。
環境	向上	同程度	低下	従来技術での型枠組立や吹付作業を申請技術では行わないため、現場作業で発生する振動や騒音を軽減できる点で環境は向上する。	従来技術は、型枠組立や吹付作業が必要になるため、申請技術に比べ現場作業が多く振動や騒音などの環境の点では劣る可能性がある。
維持管理性	向上	同程度	低下	従来技術と同程度である。	申請技術と同程度である。
その他	向上	同程度	低下	該当なし。	該当なし。

技術名称：ジオメトリパネル

申請者名：岡部株式会社

■活用実績

発注者	県内件数	県外件数
広島県	2件	—
その他公共機関	0件	35件
民間等	1件	12件

発注者	年度	公共工事名(事業名)
長野県	2023	令和4年度 防災・安全交付金(道路)工事 下久堅バイパス1工区
福岡県	2023	国道500号道路改良工事(R4-2工区)
山梨県	2023	(主)上野原あきる野線災害防除工事(明許) (余7)
静岡県	2023	市道伊豆山神社線道路修繕工事
静岡県	2023	令和4年防災・安全交付金事業町道湯ノ沢草崎法面对策工事
静岡県	2022	令和3年度[第33-I1850-01号](主)掛川天竜線災害防除工事(法面对策工)
大阪府	2022	阿倍野区第1766号線道路崩壊対策工事2
長崎県	2022	主要地方道野母崎宿線道路災害防除工事
東京都	2022	都立日比谷高等学校(4)擁壁
広島県	2021	安佐北2区259号線災害復旧工事(3-1)
広島県	2021	4号トンネル土砂対策工事

■国土交通省(NETIS)への登録状況

申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価(事前・事後)
北海道開発局	令和6年4月24日	HK-240002-A	評価無し

■建設技術審査証明の発行状況

発行機関名	証明書発行年月日	証明書番号

■国及び都道府県等による技術的審査を受けている状況

■知的財産等

特許・実用新案		番 号
特許	1. あり 2. 出願中 3. 出願予定 4. なし	
実用新案	1. あり 2. 出願中 3. 出願予定 4. なし	

■当該技術の課題と今後の改良予定